

ゴミの分別はなぜするの？②

先月号では、「きれいなプラスチックごみ」の燃料としての再利用について取り上げましたが、今月号ではもう少し詳しく見てみましょう。

集められた『燃えるごみ』は、「田村西部環境センター」で焼却します。燃やした後の灰は、バーナによって溶かし、水で冷やして『スラグ』というガラス質で覆われた砂状の固形物になります。

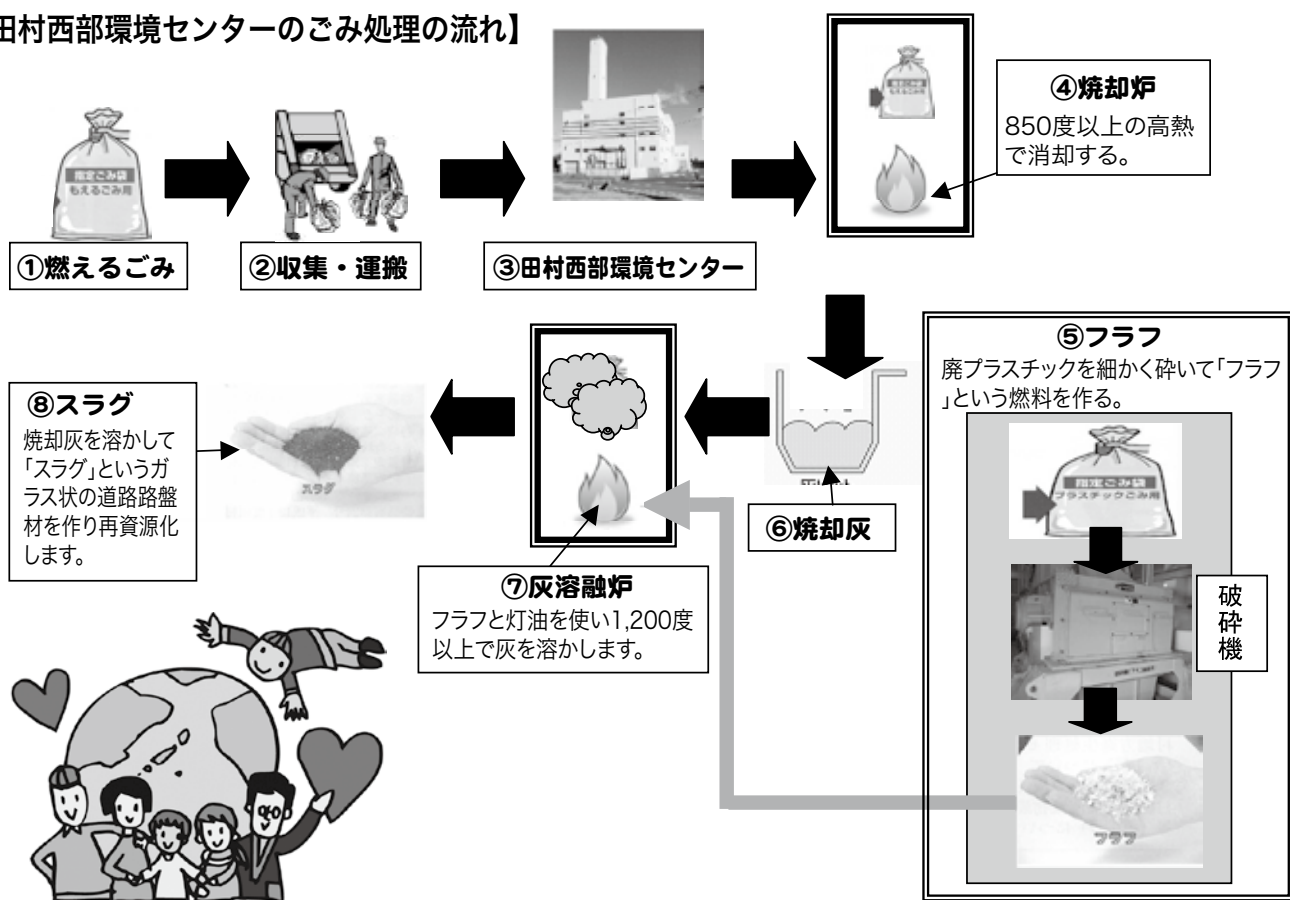
このように焼却灰を溶かし、スラグ化することで、灰に含まれるダイオキシンは完全に分解され、体積を40%～60%に減らすことができます。このスラグは道路の路盤材として有効利用されます。

スラグの製造には、通常大量の灯油を使いますが、田村西部環境センターでは、きれいなプラスチックごみを細かく砕いた『フラフ』と呼ばれる燃料を使用します。そのため、灯油の使用量を格段に抑えることができます。フラフの原料のプラスチックは、汚れや濡れたままのもの、異物が入っているものなどは利用することができません。

「きれいなプラスチックごみ」の収集量が増えることで、灯油の節約ができ、二酸化炭素排出量の削減による地球温暖化対策にも貢献することになります。今後とも、きれいなプラスチックの分別にご協力をお願いします。



【田村西部環境センターのごみ処理の流れ】



問い合わせ先 三春町清掃センター ☎ 62-6123 / 住民課 生活環境グループ ☎ 62-2147

2010年

世界農林業

センサス



平成22年2月1日に実施します
ご協力をお願いします

農林業センサスは、我が国の農林業の生産構造や就業構造、農山村地域の実態を明らかにすることを目的に5年ごとに実施している大切な調査です。

次の2つの調査が行われます。

▼農林業経営体調査

農林業の経営主に経営の現状をお聞きする調査です。

▼農山村地域調査

町と農業集落の代表者など地域の実情に精通している方に農山村地域の現状をお聞きする調査です。

県から委嘱された調査員が該当する農家などを訪問し、聞き取りや調査票の記入などをお願いたしますので、ご協力ください。調査員にも守秘義務がありますので、調査で知り得た情報が他人に漏れることはありません。また、調査結果は統計資料を作成するためだけに使われますので、税金の徴収に使われるようなこともありません。

▼問 総務課 企画情報グループ

☎ 62-8125